

**2017年度協定留学プログラム  
派遣学生留学状況報告書**

非公開希望	項目	内容
	所 属	文学部／研究科 英語英米文化学科／専攻 2年（留学年次） 3年（帰国年次）
原則 公開	留学先	※大学名、学部、学科名を記入してください。 淡江大学 外国語学部 英語学科
原則 公開	留学期間	※実際の留学期間（留学先での授業期間）を記入してください。 2017年 2 月 11 日 ～ 2018年 1 月 19 日 出国日 2017 年 2 月 10 日 最終帰国日 2018 年 1 月 21 日

留学の状況について、各項目について書いてください（合計1,500字以上）。これから海外留学をする学生にとって貴重な情報となりますので、なるべく仔細な記述をお願いします。

### 1. 留学全般について

#### （1）留学当初の所感（第1・2回目報告書記載）について、自己評価や、留学前からの意識の変化等

留学前からの、意識の変化は大いにありました。留学前を開始する前は、台湾に着いてからは、授業で習った中国語を生かして現地の台湾人とコミュニケーションをする、目標を持っていました。しかしながら、実際、現地に着いてからは、思うように中国語を使ってコミュニケーションをとることができなかつたため、留学開始当初はとても落ち込みましたし、悩んだりもしました。しかし、勉強ばかりが語学力向上に役立つわけではないと分かったため、台湾人の友達と過ごす時間や、周りの留学生と過ごす時間を大切にするようにしました。そこで、感じたことは、やはり、勉強以外の遊びや通常の生活から学べることも沢山あるということです。それ以降、自分自身、気持ちの面で少しゆとりができ、だんだんと現地での生活を楽しめるようになりました。

#### （2）留学前にもっと準備をしておけばよかったと感じること

留学前にもっと準備しておけば良かったと思う事は、やはり中国語の基礎の勉強です。私は日本で第二外国語として中国語を2年間勉強していたにもかかわらず、実際、台湾の大学の中国語の授業では、初級から履修をすることになりました。なぜなら、ピンインや発音、文法などの基礎の部分に自信がなかったためです。勿論、人にもよると思いますが、難しい文法や単語を学ぶよりも、まずはピンインや発音、基礎の文法を固めておく事が重要だと思います。

## 2. 留学先大学について

### (1) 留学先大学の授業や教授等についての印象や感想

台湾の大学の先生方は皆、優しく親身になって話を聞いてくれます。特に、中国語の授業では自分のレベルに合ったクラスで授業を受けることができるので、周りの生徒とのレベルもほぼ同じで、語学を勉強するのにとても良い環境だと思いました。また、先生方も皆が理解するまで説明をしてくださったり、休憩時間に質問をしに行けば、丁寧に説明をしてくださったりするので、分からない部分を残したままテストに臨むという事はありませんでした。しかしながら、私が履修をした英語学科の英作文の授業は、周りの台湾人の学生の英語のレベルがすごく高かったため、授業についていくことに必死でした。さらに、毎週の課題も多かったのも、とても大変でした。ですが、今となれば、海外の大学に留学してこそ経験できる授業であり、とても貴重な体験であったと感じます。

### (2) 留学先大学のキャンパスや施設についての印象や感想

淡水キャンパスはとても広々としていて、勉強する環境にとっても適していると思いました。大きな図書館もありますし、大学内にカフェもあるので、授業と授業の合間に自習や課題をする際にも、勉強場所に困る事はありませんでした。また、学食の種類も豊富ですし、キャンパスの周りには飲食店が沢山あるため、毎日の食事に関しても困ることはありませんでした。

寮の部屋も、思っていたよりは綺麗ですし、しっかりとした勉強机もあるため、勉強しやすい環境でした。しかし、冬はたまにシャワーの調子が悪く、水しか出ない時がありました。また、夏の暑い時期は蚊も多いですし、日本に比べて湿度と気温がかなり高く、決して過ごしやすい気候とは言えませんでした。南国が好きな人にはとても向いていると思います！

### (3) 留学先大学の留学生に対するサポート体制について

**語学面：**留学生を対象とした語学補習講座のようなものが授業として或いは授業外で開講されているのかどうか、また開講されている場合は、その時間数や内容、費用等について書いてください。

そのような語学補習講座があるというような情報は、耳にしたことはありません

**生活面：**生活面のサポートや留学生向けのイベントについて書いてください。

基本的に、どの場面でも留学生に対して、手厚くサポートをしてくれました。留学生専用のFacebookがあり、費用の支払いや申し込み等の提出期限を管理人の方がFacebookを通してリマインドしてくれます。分からないことがあった場合には、日本の国際交流センターのような場所があるため、そこに質問をしに行けば必ず解決できます。

**資金面：**現地で得られる奨学金等の情報があれば書いてください。

(4) 留学先大学周辺の治安について書いてください。

治安はとても良いです。

(5) その他留学先大学についての印象や感想があれば書いてください。

大学生生活していて感じた事は、日本に興味のある台湾人が比較的多いということです。図書館やカフェで勉強していても、日本語を勉強している台湾人をよく見かけます。実際、私は、夏休みにカフェで中国語を勉強している際に、偶然相席をした台湾人が日本語を勉強していて、とても親しくなり帰国日の前日までその友達と一緒に出かけするなど、とても良い関係を築くことができました。また、台湾人の学生はとても親切で、困っている留学生などがいたら声をかけてくれたり、手を貸してくれたりします。大学の雰囲気や学生の雰囲気も、少し日本と似ているところがあると感じました。特に、日本人にとっては、とても過ごしやすい環境だと思います。

(6) 留学先での履修科目等

※本学での単位認定に関係なく、①に派遣先で履修した科目名をすべて記入してください。単位が認定された場合は、その科目の②に本学での科目名を記入してください。行は適宜追加してください。

※成績証明書を添付してください。

①留学先での履修科目名 (単位数)	②本学で単位認定された科目名 (単位数)
英作文 (2)	
華語聴説 (2)	
華語読写 (2)	
日本語会話 (2)	

3. 宿舎について

(1) 種類

大学の寮 / アパート / ホームステイ / その他 ( )

(2) 家賃

月額 (現地通貨) 約 11000 元 、(日本円) 約 42000 円

(3) 食事

食事付き (朝・昼・夕) / 自炊 / その他 (  外食 )

(4) 大学までの交通手段、所要時間

徒歩 / 自転車 / バス / 地下鉄 / その他 ( )、計 0 分

(5) 感想、良かった点・悪かった点

洗濯機のクオリティが低かったです。  
部屋は、比較的綺麗だったと思います。

#### 4. 費用について

##### (1) 学 費

(現地通貨) 約                   、(日本円) 約                    円

##### (2) 渡航方法と金額

飛行機 / 船舶 / その他 (                    )、(日本円) 約   40000 円

##### (3) 生活費

(現地通貨) 月額・年額 約 13000 元   、(日本円) 約 50000 円

※ 宿舎費を含めた金額を記入してください。

##### (4) 費用の持参方法

国際キャッシュカード / クレジットカード / 国際ブランドプリペイドカード  
/ 現金 / その他 (                    )

⇒ その方法についての感想、良かった点・悪かった点

いつでもコンビニエンスストアや、駅の ATM でお金を出すことができたのでとても便利でした。日本から振り込んでもらった場合、早くても当日、遅くとも翌日には引き出すことができました。

##### (5) 「学習院大学海外留学奨学金」を受給した場合、その主な支出内容と金額の内訳

学費、現地での生活費、寮費など

#### 5. 保険について

##### (1) 保険会社名

AIU 海外旅行保険

##### (2) 保険料

223490 円

##### (3) 加入した保険の種類、内容

長期留学用プラン (行き帰りの航空機に関するトラブル、歯科費用も込みでした)

##### (4) 感想、良かった点・悪かった点

私は、実際に現地で、何度も病院を利用しました。AIU の保険は、キャッシュレスで、提携病院も何か所かあるためとても便利でした。個人としては、現地で歯科に行かざるを得な

なくなってしまったのですが、歯科の保険も加入しておいたため、半額負担で済み、とても良かったです。

## 6. 荷物について

### (1) 荷物の送付方法

手荷物／船便／SAL 便／航空便／海外宅配便／その他（                    ）

### (2) 持って行って良かったと思う物

医薬品、日本で使用していた中国語の教科書、単語帳

### (3) 持って行く必要が無かったと思う物

日用品は、現地で安く買うことができるため、日本からわざわざ買って持っていく必要は無かったです。

### (4) 持って行けば良かったと思う物

中国語の紙の辞書、防寒着、帰国してから受ける予定の検定のテキスト

## 7. 平日および週末の平均的な過ごし方

### (1) 平日

平日はほぼ毎日授業がありました。空きコマなどを利用して課題を進めたり、日本に帰ってから受ける予定である、検定の勉強をしたりしていました。また、留学生専用の中国語の授業は、夜の8時に終わるので、そのままクラスメイトと夜ご飯を食べに行くことが多かったです。

私は他の人に比べて授業数はかなり少ない方でしたが、一つ一つの授業の課題は重いですし、宿題以外にも予習、復習などやるべきことが沢山あったため、暇な時間は全くありませんでした。時間に余裕のある夜は、隣の部屋の友達とおしゃべりをしたり、部屋で映画を見たりしていました。また、私のルームメイトは語学を学ぶことにとても興味がある方でしたので、言語交換のような形で一緒に勉強もしていました。

### (2) 週末

週末は、基本的には課題をやる時間に当てていましたが、時間に余裕のあるときには、台北市内を観光したりショッピングに行ったりしていました。実際に、日本人などが、観光で台湾に来る際に訪れる夜市以外にも、台湾人に人気の夜市などがもっと沢山あるので、開拓しがいがありました。友達と出かける日もあれば1人で博物館や観光地に行く日もありました。台湾は交通が発達していて便利です、交通費もとても安いので行きたい場所にすぐに行けることがとても良い点であると感じました。私の友達の中には、週末と月曜日を利用して台湾の南の方へ旅行している人もいました。

## 8. 後輩へのアドバイス等

留学をする前は、現地の生活はなかなか想像できないと思いますし、勉強面での不安も沢山あると思います。ですが、台湾は日本のものも沢山売っていますし、現地の人みんな親切なので、生活面で心配する事は特にありません。実際、私は1年の留学中に何度も体調を崩し病院に行ったりもしましたが、その際も、全て1人で行動していましたが特に困ったことが起きるような事はありませんでした。

また、私は自分の履修している科目がとても少なかったため、周りの人と比べてしまい、時に不安に思うことが多々ありました。しかし、暇な時間は本当に1日もありませんでした。授業以外にもやらなければいけないことや、自分で自主的に進める勉強はいくらでもありましたし、同時にTOEICの勉強も進めていました。もともと、日本に帰国してから受験する予定だったのですが、せっかくなので台湾で自分の実力を試してみたいと思ったので、留学中に申し込み、台湾の大学でTOEICを受けました。このように、自分自身で勉強するきっかけや、機会はいくらでも作ることができます。また、有り難いことに、台湾人の友達ととても親しくなることができたため、いつでも中国語の質問をすることができる環境にありました。

私が留学を終えて、最も強く思うことは、現地では、自分でいくらでも機会を作ることができるということです。私は、この留学の1年間は、とにかく積極的に自分で行動しようと決めて生活をしていました。留学先では、日本では経験できないようなことが山ほど溢れていましたし、新たな場所に、あえて飛び込めば勉強以外に学べることもありました。3ヶ月の長い夏休みの間に、一時帰国をしている方も沢山いましたが、私は新しい体験をしたいと思い、1ヵ月間フィリピンに行き、現地の高校生に日本語を教えるボランティアや、スラム街での食料供給活動などに参加しました。このように、自分で食欲に機会を探すことができれば、いくらでも素敵な経験をできると思います。これから留学をされる方は、ポジティブに積極的に自主的に行動をすると良いと思います。日本ではできない様々な経験を楽しんで来ててください。

## 9. その他、雑感や要望など書きたいことがある場合は自由に書いてください。